

# 第 168 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

## 議事概要

日 時：令和 4 年 7 月 6 日（水）15:00～15:45

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

### ・会議の概要

#### <報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。
- ◇ 沖縄県ワクチン 3・4 回目接種推進期間について、総括情報部より報告があった。
- ◇ 発生届様式簡略に係る本部会議資料の変更について、総括情報部より報告があった。

## 1 参加者

玉城 知事、池田 副知事、島袋 政策調整監、嘉数 知事公室長、  
宮城 総務部長、儀間 企画部長、金城 環境部長、宮平 子ども生活福祉部長、  
系数 保健医療部長、前門 農業振興統括監、松永 商工労働部長、  
宮城 文化観光スポーツ部長、金城 土木企画統括監、名渡山 会計管理者、  
半嶺 教育庁、我那覇 病院事業局長、松田 企業局長、  
県警 喜屋武 警備第二課 宮里 感染対策統括監、  
高山 政策参与、テレビ会議システム利用：木村 宮古保健所長、比嘉 八重山保健所長

欠席：照屋 副知事

## 2 報告事項

### (1) 沖縄県新型コロナウイルス感染症対策：警戒レベル判断指標等の状況について

- 総括情報部から警戒レベル判断指標等の状況について報告があった。
  - ✓ 人口 10 万人当たりの新規陽性者数は、2 週間前が 549、先週が 633、本日 763.31 人まで増加している。
  - ✓ 病床使用率は、40%前半で推移していたが、直近では 40%台後半で、今日は 48.2%となっている。
  - ✓ 重症者用病床使用率は、警戒レベル 1 の状態を維持している。
  - ✓ 参考指標の前週比が 1 を超えると、感染拡大が続く状況となるが、6/24 以降 1 を超える状況で推移している。本日は 1.19。
  - ✓ 本日の新規陽性者数は 2,241 名で、先週の同じ曜日より 500 名程度増加してい

る。

- ✓ 入院中の患者は 200 人台後半で推移していたが、7/4 から 300 人台が続いており、本日 304 名となっている。
- ✓ 県基準の重症者数は 1 桁台で、1～4 名で推移している。
- ✓ 宿泊施設の療養者数は、元々 500 人台後半だったが、直近では 500 人を切る状況となっている。自宅療養については直近では 13,000 人を超える状況となっている。

## (2) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1～3-11】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。
  - ✓ 直近 1 週間の人口 10 万人あたりの新規陽性者数は九州・沖縄で上位を占めている状況だったが、最近では東京都、大阪府が上位に上がってきていることから、今後全国的な感染拡大が見込まれる。
  - ✓ 各市町村別モニタリングでは、糸満市、名護市では前週比 1 を下回っているが、他は 1 を超えており、特に石垣市では 1.73、宮古島市の 1.6 など、高い状況となっている。
  - ✓ 年齢階級別の推移では、各年齢ともに増加している。前週比では 60 歳以上で 1.26 から 1.29 となっており、人数は少ないが感染の拡大が顕著となっている。
  - ✓ 非コロナ病床使用率の一般病床では、沖縄本島、沖縄全体で 97% となっており、八重山地区については元々 80% 台だったところ、6/28 以降は 95% を超えるような状況となっている。
  - ✓ 患者受入医療機関の就業制限(休業)状況を見ると、7/5 で 426 名が休業している状況で、うち看護師が 201 名と半数近くを占めている。全体の数としてもなかなか減らない状況が続いている。
  - ✓ 沖縄県疫学・統計解析委員会の報告によると、沖縄本島の先週の実効再生産数

は 1.07 で、全県的に陽性者数が増加している。

- ✓ 八重山は過去最大の流行となっており、20 歳未満が 39%、70 歳以上も 5%と増えている。市町村別では、石垣市 472 人のほか、竹富町 90 人と小規模離島で集団感染が発生している。
- ✓ 沖縄県では、全県的に感染が拡大しており、とりわけ宮古と八重山では急速に広がっている。これらの地域では 3 回目のワクチン接種が比較的早期に始められ、効果が減弱してきている可能性がある。そのため、4 回目の接種について検討をしていただきたい。
- ✓ 今週の新規陽性者数は 10,000-14,000 人、入院患者数は 380-430 人が見込まれており、BA.5 の市中による拡がりによっては、再拡大が早まる可能性が高まり、かなり厳しい状況へと向かっている。
- ✓ 昨年度と今年度の人口 10 万人あたりの新規陽性者数と前週比の推移を比較すると、ピークと増加に転じるタイミングが早まっている。
- ✓ 八重山圏域の年齢階級別新規陽性者数を見ると、どの年代でも急激な増加となっており、前週比では 60 歳台以上の増加が顕著となっている。

### (3) 宮古圏域・八重山圏域 人口 10 万人あたり新規陽性者数、病床使用率及び重症病床使用率の推移【資料 6】

#### ➤ 総括情報部より説明。

- ✓ 宮古圏域での人口 10 万人あたり新規陽性者数、病床使用率及び重症病床使用率の推移では、200~300 人台で推移していたが、直近では 700 近くまで上昇している。一方で、病床使用率についてはずっと一桁台で推移している。
- ✓ 八重山圏域での人口 10 万人あたり新規陽性者数は 1,200 近くまで上昇している。重症者用病床使用率は 2 床あり、現在両方とも埋まっており 100%となっている。

- ✓ 検査事業実績の一般無料検査では、6/25-7/1 の期間で受検者数 27,609 件、陽性者数は 2,748 件で陽性率は 9.95%となっている。
- ✓ 学校 PCR 検査の実績では、6/18-6/24 で小学校 95 校、学童クラブ 13 校、保育所・幼稚園で 82 校の実績となっている。

#### (4) ワクチンの接種状況について【資料 8】

##### ➤ 総括情報部より報告。

- ✓ 7/4 時点での接種実績として、1 回目 71.6%、2 回目 70.9%、3 回目 45.9% が接種済みとなっており、3 回目の接種は高齢者の 84.4%が接種済みとなっている。
- ✓ 離島町村（13 町村）の 4 回目実施状況は、粟国村が実施済み、座間味村、渡嘉敷村、南大東島村、北大東村、伊是名村、久米島町、多良間村、与那国島で 7 月中に実施開始を予定している。
- ✓ 企業・団体枠（大学等含む）の接種状況として、県広域ワクチン接種センターでは令和 4 年 4 月以降、1 企業で 10 名、5 大学等で 100 名、3 専門学校で 137 名の合計 247 名へ接種を行った。1 大学（2 名）が現在調整中。

#### (5) 県立病院の状況について

##### ➤ 病院事業局より県立病院の状況について報告

- ✓ 7/5 時点の県立病院の入院患者数は全体で 80 名となっており、前回報告より 17 名増、前々回報告より 9 名増。沖縄県の入院患者の 22.8%を占める。県立病院が現在確保しているコロナ病床の稼働率は 51.0%である。
- ✓ 県立病院の入院者数の内訳としては、北部病院 27 名、中部病院 19 名、南部医療センター 10 名、宮古病院 2 名、八重山病院 21 名、精和病院 1 名の計 80 名で、非コロナ病床稼働率は本島、宮古が 95%を超えている。

- ✓ 北部病院では入院患者の 1/3 が酸素投与を行っており、また、一般病床の稼働率が 95%以上で高止まりとなっている。伊平屋島で 4 人コロナ患者発生があり懸念している。
- ✓ 中部病院では 7/4 に入院患者 4 人、職員 1 人、計 5 人のクラスターが発生した。また、周囲の病院が救急車受け入れを止めているため、搬入が相当数増加している。救急の現場は疲弊している。この状況を知ってもらい、改善措置をとっていただきたい。
- ✓ 南部医療センターでは生後 1 ヶ月の乳児は人工呼吸から離脱した一方、70 歳代（基礎疾患腎不全）の患者が人工呼吸となっている。コロナ病床は余裕があるが、延期していた待機的治療を行うための成人一般病棟の不足が深刻である。
- ✓ 宮古病院ではコロナ関連による職員の休業者は 20 人。職員感染により病棟は隔離されていたが患者の陰性確認後明日解除予定となっている。
- ✓ 八重山病院では HCU は 2 人で人工呼吸の患者が 1 人となっている。7/6 から診療制限として外来電話診療を予定している。看護師の休みが増えてきており、各病棟にコロナ患者が入院しているため、病棟看護師の負担が大きい。対策として、病棟を 1 つ閉じて看護師を配置する予定である。観光客の増加により、ホテルは満室状態となっている。イベントは通常通り行われており、感染者の急激な増加で医療現場は厳しい状況である。
- ✓ 精和病院の入院患者は 2 名。病棟の酸素配管工事は 7/1 で終わり現在即応病床 14 床の運用に戻っている。
- ✓ 診療制限の状況として、宮古病院では一般診療で一部病棟の受入を制限及び予定手術の一部延期を行っている。八重山病院では、7/6 より外来については電話診療を予定している。また、手術・検査について来週から緊急以外は行わない。

(6) 宮古・八重山地域の感染状況について

- 宮古地方本部から宮古地域の感染状況等について報告。
  - ✓ 宮古では週当たり 445 人程度となっており、前週比 1.82 倍。
  - ✓ 年齢層は、10 歳未満が最多で次いで 10 代が続くが、全世帯で増加が広がっており、60 歳以上は 15%となっている。
  - ✓ 職業は幅広いが飲食店、接客業、観光業で広がっている。
  - ✓ 施設の発生状況は週 9 件で前週が 4 件だったため約 2 倍。ただし 1 施設あたりの陽性者は 2.3 人とほぼ横ばい。
  - ✓ 新規クラスターは 2 件。1 件病院クラスター疑いがあったが、職員の感染経路からクラスターとは言えないと思われる。
  - ✓ 地域の感染拡大に伴い、施設での感染も広がっているが、施設クラスターでも利用者の少ないところは少数、多いところは多数と二極化している。
  - ✓ 大規模クラスターが発生。濃厚接触者の確認を任せており、初期のスクリーニングで陽性者の洗い出しを行っていない分、集団生活の場においてはなかなか感染が収まらない。
  - ✓ 本島への修学旅行から戻ってきた学生が複数名陽性。宮古に戻ってきた際の空港 PCR 検査で判明。
  - ✓ 保健所の調査については可能な限り 1 日も遅れないよう対応できている。先日の通信回線トラブルについても、大きな問題はなかった。
  - ✓ 今後の私見として、BA.2 から BA4、BA5 への置き換わりが進んでおり、ワクチン接種の伸び悩み、これまでのウイルスよりワクチンの効果が薄いこと、行動制限の緩和が進んでいること、熱中症の対策として個々の感染対策が緩和されていることなどから、今年の夏場は 4 月 5 月の感染状況を超えると思われる。
- 八重山地方本部から八重山地域の感染状況について報告。
  - ✓ 直近の週の感染者は 802 名で前週比 1.8 倍。7/4、7/5 は 200 名と 1 日あたり過

去最大の陽性者が発生。これに加え、7/2の通信障害の影響で患者約300人とファーストコンタクトが取れていない。ホームページなどで周知しているが、対応が難しい。

- ✓ 年齢別に見ると10歳未満、10代の順番で40%を占めている。60代以上は13%で70代から90代の感染者も確認されている。
- ✓ 新たなクラスターが発生しており、職員、利用者で計17名が陽性となっており、対応を急いでいる。
- ✓ 小規模離島での発生状況は、竹富町で90名の陽性者が出ており、一つの離島で複数の感染源から発生している。様々なイベントの後で増えている様子。
- ✓ 4つの島で71名が自宅療養中。与那国町でも8名が自宅療養をしている。
- ✓ 通信障害の影響もあり、7月から2～4名の動員をお願いしている。県コロナ対策本部からも保健師の応援があり、生活環境班、地域保健班の窓口業務を停止しコロナ対応を行っている。
- ✓ 7/5、出先機関連絡会議で情報共有。八重山の対策本部会議で市町村、病院、消防、海保と現状確認を行った。

#### (7) 空港PCR検査プロジェクト・TACO・RICCAの運用状況等について【資料9】

- 文化観光スポーツ部から、空港PCR検査プロジェクト・TACO・RICCAの状況について報告。
- ✓ 空港PCR検査プロジェクトについて、6/27の週の受検者は1,972名で、前週比-154名。内訳は、県内在住者1,766名、県外在住者206名、陽性者は48名で、陽性率は2.4%。
- ✓ 宮古空港での検査が60件ほど増えており、危機感が表れている様子。
- ✓ 那覇空港抗原検査について、受検者は269名で、対前週比-61名。うち県内在住者211名、県外在住者58名、抗原検査陽性は0名であった。

- ✓ TACO について、6/27 の週の電話対応件数は 24 件で、うち健康相談・問診実施数は 11 件となっている。
- ✓ RICCA について、7/1 時点の登録者数は 151,375 名となっている。(前週より+158) 登録施設等は 19,281 件。(前週より+18)

#### (8) 沖縄県ワクチン3・4回目接種推進期間について【資料 10】

##### ➤ 総括情報部より説明

- ✓ 今年の夏は、イベントや交流が活発化することが予想されるが、一方で、感染拡大が懸念されることから、夏以降の流行に備え、県民の重症化を予防し、また、沖縄県の医療ひっ迫を防ぐために、ワクチンを最新の状態とするということを目指し、市町村と一緒に取り組みを進めていきたいと考えている。
- ✓ 4回目接種については全市町村が対象としている、60歳以上の方を分母とし、8月末までに接種対象となる約30万人のうち、80%に当たる約24万人以上への接種を目標としている。
- ✓ 3回目接種については、8月末までに接種対象者となる約65万人のうち、60%に当たる約39万人への接種を目標としている。6月は2万人、5月は5万人、4月は10万人と徐々に接種者が減っているため、県としては6月の2万人接種を最低限キープすることで、8月末までに目標を達成したいと考えている。
- ✓ 4回目接種は重症化予防のため、特に施設内の方への接種は早めに行えるよう市町村と共に推進していく。

#### (9) 新型コロナウイルス感染症に係る発生届様式の簡素化に伴う対応について【資料 11】

##### ➤ 総括情報部より説明

- ✓ 新型コロナウイルス感染症については、現在、感染者を診断した医師は、保健所長を経由して県知事への全数届出が義務づけられているが、発生届の作成に

あたり、医師が感染者に聞き取りを行って入力するため、飛沫・接触感染の別などは不明の場合も多く、届出の入力に一定の時間がかかるため、感染者が急増した場合に入力に相当の時間を要することから、外来をひっ迫させる一因となっていることが指摘されていた。

- ✓ そのため、関係法令の見直しを行い、発生届の届出項目について変更が行われた。この変更に伴い、症状、診断方法、感染原因や感染経路の聞き取りが簡素化されることから、沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議において使用している感染状況の資料等の見直し等を行うこととした。

#### (10) 質疑応答

- ✓ ワクチン接種推進期間について、8月末までの目標はあるが、7月中の目標はないのか。また、本部会議資料の変更について、飲食の動向や移入例についての資料が削除となるが、動向を見た上での対策、状況の把握ができるのか。  
→7月末までの目標も必要と考えている。8月末までに80%を達成するためには、7月末までに60%を目標とするのが妥当だと内部では話し合っている。目標とすべきということであれば、取り回りたい。移入例については、全国との状況等の比較、次週移行、県外に住所がある方についての動向について資料に含めるよう検討したい。  
→対応していただきたい。
- ✓ 新規PCRの陽性検査が7月以降記載されていない理由はなぜか。  
→7月からの発生届様式変更に伴い、陽性になった検査の種類が分類できなくなったため。検査全体に占める陽性者というのが一番わかりやすいかと考えられるが、分母となる検査全体を把握することが難しいため、続くような指標が得られていない状況。  
→感染拡大の傾向が表れやすい指標だったので、今後データが取れないという

ことであれば削除せざるを得ないと思うが、これに代わる指標について検討をお願いしたい。

(11) その他

➤ 保健医療部長より報告

- ✓ 感染状況が徐々に厳しい状況となっており、各圏域とも病床使用率が60%に近づいている。60%を超える状況が続けば対策本部を開き、圏域別に警報を発出し、コメントを県民にお伝えする。

閉会